

日本の電機産業 はこうやって 蘇る

若林秀樹

Wakabayashi Hideki



洋泉社

『日本の電機産業はこうやって
蘇る』

著者●若林秀樹
発行：洋泉社

日本は「インフラ」で勝てる

「日立製作所や東芝、三菱電機らが抱える中長期の課題とは?」「ソニーの次期トップはサプライズ人事?」。アナリスト/ファンドマネジャーとして電機業界を20年以上にわたり見続けてきた著者が、世界的なトレンドを分析した上で、日本の電機メーカー復活への道筋を指し示す。

具体的に著者が提案しているのが、「ITからEE(エネルギーとエコ)への転換」、すなわち、弱電から重電あるいは白物家電へ、個々の端末ビジネスから街や社会全体のインフラビジネスへの転換である。

第1章では業界のトレンドを、第2章では電機業界の構造変化の中で、ITではなくEEが重要であることを確認。第3章では、著者が成長分野と位置づけるインフラ輸出、スマートグリッド、LED照明、電池を取り上げている。第4章では、著者がリーマンショック直後に前著に書き記した「予測」を振り返り、検証。第5章では著者の経営論、第6章では政府の関与や役割について、第7章では業界の主要企業を取り上げるとともに各社の将来の問題点を論じている。